東京科学大学生向け 特別講演

科学は 世界を救うのか？

東京大学 准教授・ドイッチャー記念賞受賞者・
ベストセラー『人新世の「資本論」』著者

斎藤幸平氏と考える
AI時代の資本主義と脱成長

2026年5月11日（月）
17:30〜19:00（受付開始 17:00）
@大岡山キャンパス＆オンライン

- 場所　　：東京科学大学 大岡山キャンパス西9号館 ディジタル多目的ホール
  ＆オンライン（ZOOM ウェビナー）
- 対象　　：本学の学生・教職員 ／一般の方
- 参加費　：本学関係者は 無料 ／一般の方は 1,000円 (学生・生徒は 無料)
- 参加方法：事前申込制（詳細は下記のURL もしくは QRコードより）

定員：250名（対面）／500名（オンライン） 申込締切：2026年5月9日（土）

※ 対面参加は本学関係者のみとさせていただきます。当日学生証・職員証をご持参ください。

今日、私たちが直面する環境問題や社会崩壊の危機において、科学は何を為せるのでしょうか。
新進気鋭の経済理論家で「脱成長コミュニズム」の提唱者である斎藤幸平氏を迎え、考えます。
AIやCO2の回収・貯留技術（CCS）といった技術革新では 世界を救えないと主張する斎藤氏が
示す処方箋とは？ その既成概念を揺さぶる主張への 学生の皆さんからの質問・挑戦大歓迎です。

斎藤　幸平 氏

1987年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科准教授。ベルリン・フンボルト大学哲学科博士課程修了。
博士(哲学)。専門は経済思想、社会思想。2018年「ドイッチャー記念賞」を日本人初、歴代最年少で受賞。
2021年に出版した『人新世の「資本論」』は50万部を超すベストセラーに。受賞歴・メディア出演多数。

主催：東京科学大学 リベラルアーツ研究教育院
後援：一般財団法人 三菱みらい育成財団

詳細・お申込み
https://core.ila.titech.ac.jp/news/260511